

山田やすゆき市政報告

日本共産党岩国市議会議員

海士路町2 55 7
31 2985



お読みください
日刊 月 3400円
日曜版 月 800円



岩国市は「資料は確認しているが、米軍の複数あるうちの1つで日本政府から正式に出されるものではない」と答弁しました。

今、全国的にも地方空港の需要は低迷、岩国空港の需要予測調査も43万人から35万人(周南市の鹿野から廿日市市の吉和の範囲)と見直しを行い、貨物の取扱量1890トンと予測。

民間空港について

需要予測を大きく見積り、他の地方空港と同じ道をたどるのではと質問。

「開港後の安定した需要が確保できるよう利用促進にとりくんでいく」と答弁しました。

教科書採択

非公開で

来年度から4年間、中学校の社会科教科書に「育鵬社」出版の歴史教科書「新しい日本の歴史」を採択、この教科書は太平洋戦争を「大東亜戦争」とし、日本のアジア侵略戦争と植民地支配、加害などの歴史的事実を捻じ曲げ、侵略戦争を肯定する記述等多くの問題点を抱えた教科書です。

採択に当たってどのような議論が行われたかについて質問。

答弁は、「採択は非公開で、教科書が変わることで現場に一瞬の戸惑いがあるが充分対応できる」としました。

000人程度」と説明してきた。米海兵隊太平洋司令部が、今年の3月24日に作成した「新・マスタープラン」では、航空機は86機「人員は5127人」と具体的に記載されている。

米軍が新・マスタープランを作成していることについての岩国市の見解を求めました。

岩国基地内に放射性廃棄物保管

3月11日の東日本大震災の救援活動に派遣された米軍の航空機を除染した際に出された放射性廃棄物が佐世保、三沢、横田、厚木、横須賀、沖縄、岩国の各基地に保管されていることが8月5日に判明。

たへりコプター数機の除染済み工ス6.5Kを4月15日以降、放射性廃棄物用に設定した保管場所に拡散しないよう鉄製の容器に入れ、二重に密閉し保管している。「保管中の放射性廃棄物はすべて東京電力が引き取り処分するため、防衛省と東京電力との間で協議中」としました。

空母艦載機部隊の

岩国移駐

岩国市の放射性廃棄物の保管状況とその根拠、今後の処理について質問しました。答弁は、外務省日米地位協定室の回答として「米軍によって岩国基地に持ち込まれ保管されている物はない」。中四国防衛の回答で「海上自衛隊岩国航空基地において、福島第一原発事故に伴う物資輸送で同原発沖約35Kmを飛行し

米軍の再編について「厚木から移駐するのは空母艦載機部隊のうち固定翼機59機」人員は、4



米軍が作成した岩国基地内の配置説明図(3月24日)
図面の右上に米軍再編に係る人員5127人
その内訳3/4を基地内に、1/4を愛宕と記載されています。
左上に86機と明記しています。

愛宕山配置図



「守ろう愛宕山！・来るな艦載機 11・23市民集会」開催

11月23日(水曜日・祝日) 11:00 ~ 13:00

愛宕神社前公園

二井県知事は、「普天間基地問題に見通しがたないうちに、艦載機部隊の移駐を先行させることは認められない」と言いながら、12月には愛宕山開発跡地の防衛省への売却に結論を出すと言います。

また、福田市長は、普天間基地「移設」との関係では知事と同じ立場だとし、かつ「43項目の安心安全対策」、愛宕山運動施設用地に8000人収容の野球場、自衛隊の残留、地域振興策など4つの要望がすべて実現しなければ艦載機部隊の移駐を容認しないと声明しています。しかし、防衛省は野球場などスポーツ施設も岩国市が求めてきた仕様に添った方で建設する意向を示し、市長は大喜び。目の前の「アメ」スポーツ施設をちらつかせ新たな米軍基地の建設に突っ走ろうとしています。この企てを止めるためにも多くの皆さんのご参加を！！

平瀬ダムありきの検討委員会

ダム建設採決強行

9月30日に、第6回錦川川づ飲みまされている。ヘドロが大量に流されアサリが死滅、漁業もダメになった「全国的に緑のダム建設がストップしていたのムについてもっと検証してからの、なぜ、今更ダム建設なのか」結論を出すべきだ」など多くの「下流域ではダムで死んだ水を意見が出されました。

パブリックコメントでも9割以上の方が反対しています。しかし、検討委員会の座長は議論が尽きたとして、「ダムと河川改修を合わせた整備が最適」とする山口県の事業計画案を強行採決しました。山口県は今後、対応方針を決定し、年内にも国土交通大臣に検討結果を報告、来年度の事業を決定するものと思われます。私は、このままでは、平瀬ダム再開」に住民の理解は得られないと思ひます。



「治水」はどうあるべきかもっと市民の声を聴くべきだと思ひます。

要求要望

実現しました



南岩国5丁目郷が崎沖市道南岩国106号線の側溝が壊れ、長い間、放置されていました。

地域の皆さんとの運動でこのたび改修されました。

残りは来年度実施の予定です。